

### 3.1 被害想定の設定条件

#### 3.1.1 被害想定に用いる地震・津波のケースの選定

被害想定の対象とする地震は、地震・津波被害想定で検討した海溝型の「南海トラフの最大クラスの地震」と「南海トラフの発生頻度の高い地震」の2ケースと直下型の「中央構造線断層帯で発生する地震」と「長尾断層帯で発生する地震」の2ケースを選定した。

被害想定の対象とする津波は、香川県へ最大クラスの津波をもたらすと想定される「南海トラフの最大クラスの津波」と、一定の頻度で発生すると想定される「南海トラフの発生頻度の高い津波」の2ケースを選定した。

#### 3.1.2 被害想定項目

被害想定項目は、建物被害、人的被害、ライフライン被害、交通施設被害、生活への影響、災害廃棄物等、その他の被害及び直接経済被害とした。

表 3.1.1 被害想定項目

分類	項目	算出数量	分類	項目	算出数量
建物被害	揺れによる被害	棟数	ライフライン被害	上水道	経過日数別の断水人口
	液状化による被害	棟数		下水道	経過日数別の機能支障人口
	津波による被害	棟数		電力	経過日数別の停電軒数
	急傾斜地崩壊による被害	棟数		通信(固定電話・携帯電話)	経過日数別の不通回線数 ・停波基地局率 ・携帯電話不通ランク
	地震火災による被害	棟数		都市ガス	経過日数別のガス供給停止戸数
	津波火災による被害	件数			
人的被害	建物倒壊による被害	死者数・負傷者数	交通施設被害	道路(緊急輸送道路)	被害箇所数
	屋内収容物移動・転倒、屋内落下物等による被害	死者数・負傷者数		鉄道	被害箇所数
	津波による被害	死者数・負傷者数		港湾(防災機能強化港)	被害箇所数
	急傾斜地崩壊による被害	死者数・負傷者数	生活への影響	避難者	避難者数
	火災による被害	死者数・負傷者数	災害廃棄物等	災害廃棄物等	発生量
	ブロック塀等・自動販売機の転倒、屋外落下物による被害	死者数・負傷者数	その他の被害	エレベーターの停止	停止棟数
	災害関連死	死者数		危険物・コンビナート施設	被害箇所数
	揺れによる建物被害に伴う要救助者(自力脱出困難者)	自力脱出困難者数		文化財	被害箇所数
	津波被害に伴う要救助者	要救助者数	直接経済被害	建物被害	被害額
		ライフライン被害		被害額	
		交通施設等の被害		被害額	

### 3.1.3 被害想定の時間帯

被害想定時間帯は、県民の生活行動を顕著に反映し、被害が甚大になると想定される特徴的な時間帯として、冬・5時、夏・12時、冬・18時とした。

表 3.1.2 被害想定算出の季節・時間帯

冬・5時	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れることにもなる。</li><li>・ オフィスや繁華街等の滞留者や、鉄道・道路利用者が少ない。</li></ul>
夏・12時	<ul style="list-style-type: none"><li>・ オフィスや繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災する機会が多い。</li><li>・ 木造建物内滞留人口は、1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は冬・5時と比較して少ない。</li></ul>
冬・18時	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。</li><li>・ オフィスや繁華街等のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。</li><li>・ 鉄道、道路も帰宅ラッシュに近い状況でもあり、交通被害による人的被害や交通機能支障による影響が大きい。</li></ul>